

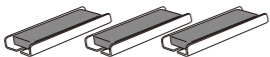


■主な仕様

項目	仕様	
入出力構成	lor/lo漏電検知	5系統
	イベント入力/ パルス入力	8点 (うちデマンド入力1点)
	デジタル出力	4点
計測監視	lor/lo漏電検知	入力範囲: 20-1000mA lo計測精度: 25℃で50mA ±10% lor計測精度: lo測定値の±10% 通報設定: 任意に3段階まで可
	lo漏電検知	デマンド入力: 50,000pulse/kwh対応 通報設定: 任意に3段階まで可 配線長MAX10m 無電圧接点トランジスタ入力 ON電圧 2.5V以下/接点の場合10Ω以下 OFF時電流 0.1mA以下
イベント(パルス)入力	最大負荷電圧 DC30V以下 最大負荷電流 許容電流1点: MAX100mA以下 4点トータル: MAX200mA以下 ON時残留電圧1.0V以下 OFF時漏れ電流0.1mA以下	
デジタル出力	瞬停検知: 100ms以上	
停電(瞬停)	瞬停検知: 100ms以上	
停電(停電)	停電検知: 1s以上	


※付属されているパルス検出専用CT以外を接続しないで下さい。正常に検出できません。

項目	仕様	
通報	発生遅延	遅延判定時間: 10秒~65535秒
	復旧遅延	保留時間: 10秒~65535秒
	定期通報	h時間毎、毎日h時m分、毎時m分
	テスト通報	テストSWの押下で、テスト通報を発信
	リセット通報	リセットSWの押下で、 端末再起動後に、リセット通報を発信
瞬停発生通報	瞬停検知から、停電検知前に1回	
間欠漏電	漏電が発生遅延時間内で警報未滿に復旧した回数をカウントし、次のいずれかを検出した場合に発信 ・5分以内に3回以上 ・30分以内に5回以上 ・24時間以内に10回以上 ・168時間以内に30回以上	
端末設定	ALLwatch® センタで設定	
通知設定	複数設定可	
通信	通信網	NTTドコモ4GLTE
	プロトコル	UDP/IPIに基づく最適化プロトコル
電源電圧	AC100V±10% 10VA以内	
外形	265 (縦) × 235 (横) × 59 (幅) (mm) (取付機構含む)	
重量	950g	
取り付け	マグネットまたはネジ取り付け	
使用温度範囲	-10℃~60℃ 結露なきこと	
使用湿度範囲	25~85%RH	
保存温度範囲	本体: -20℃~+70℃	
	電池: -20℃~+35℃	
保存湿度範囲	25~85%RH	

■付属品

項目	仕様
取付用マグネット	
停電通報用内部電池	
パルス検出用CT	

■オプション

項目	仕様
外部アンテナセット (本体ケーブル長:5m) (NTTドコモ製)	

ご注文に際してのご承諾事項

「本カタログの商品をご注文いただく際、見積書、契約書、仕様書などに特記事項があるときを除き、開発・製造元である(株)豊光社の以下の保証内容を適用します。以下の内容は、当該商品に関するオムロンソーシャルソリューションズ(株)の責任のすべてを定めたものとします。詳しくは弊社ホームページ(<https://www.oss.omron.co.jp/monitoring/order/>)にあります「ご注文に際してのご承諾事項」をご確認いただき、ご承諾のうえご注文ください。

保証期間
製品納入後1年とします。

保証範囲
保証期間内において、当社側(株式会社 豊光社、以下同じ)の責により本製品に故障を生じた場合は、代替品の提供または故障品の修理対応を、本製品の購入場所において無償で実施いたします。(設置現場での交換、修理対応は含まれません。)
ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。
a) 本マニュアルに記載されている以外の条件、環境、取扱いならびにご使用による場合
b) 本製品以外の原因の場合
c) 当社以外による改造または修理による場合
d) 本製品本来の使い方以外の使用による場合
e) 当社出荷当時の科学・技術の水準では予見できなかった場合
f) その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合
なお、ここでの保証は、本製品単体の保証を意味するもので、本製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

●本誌に記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認の上、ご使用ください。
●本システムは通信網(4GLTE網・インターネット網)、ALLwatch®センタ等の稼働状況により、メール・データ表示・遠隔制御出力等のサービスが提供できない場合があります。
●本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途への使用をご検討の場合は、定格・性能に対し余裕を持った使い方やフェールセーフ等の安全対策への配慮をいただくとともに、弊社営業担当者までご相談いただき仕様書等による確認をお願いします。
●本商品の内、外国為替および外国貿易法に定める輸出許可、承認対象物または技術に該当するものを輸出(または非居住者に提供)する場合は同法に基づく輸出許可、承認(または役務取引許可)が必要です。
●電波法の関係で海外では使用できません。
●TrueRIは登録商標です。TrueRI理論(特許第4159590号および5748797号)は、株式会社SoBrainが専用特許実施権を有する技術です。

ご注文・お問い合わせ

オムロンソーシャルソリューションズ株式会社

■お問い合わせ
TEL.0120-053-606 〒108-0075 東京都港区港南2-3-13
品川フロントビル7F TEL:03-6718-3717

URL: <http://www.allwatch.jp>
MAIL: <https://oss-omron.smtkg.jp/public/application/add/57>

開発・製造元
株式会社 豊光社

カタログ番号 **MBF-PAN-190005**

2019年10月 現在

© Copyright OMRON SOCIAL SOLUTIONS Co.,Ltd. 2019. All Rights Reserved.

詳しくはこちら↓



遠隔監視通報システム

ALLwatch®

Vector Igr
True RΩ
So Brain

4G
LTE
通信

電力・デマンド監視装置
DMT200

デマンド
入力
1点

漏電
lor
5点

イベント
入力
8点

デジタル
出力
4点

月額
料金
固定



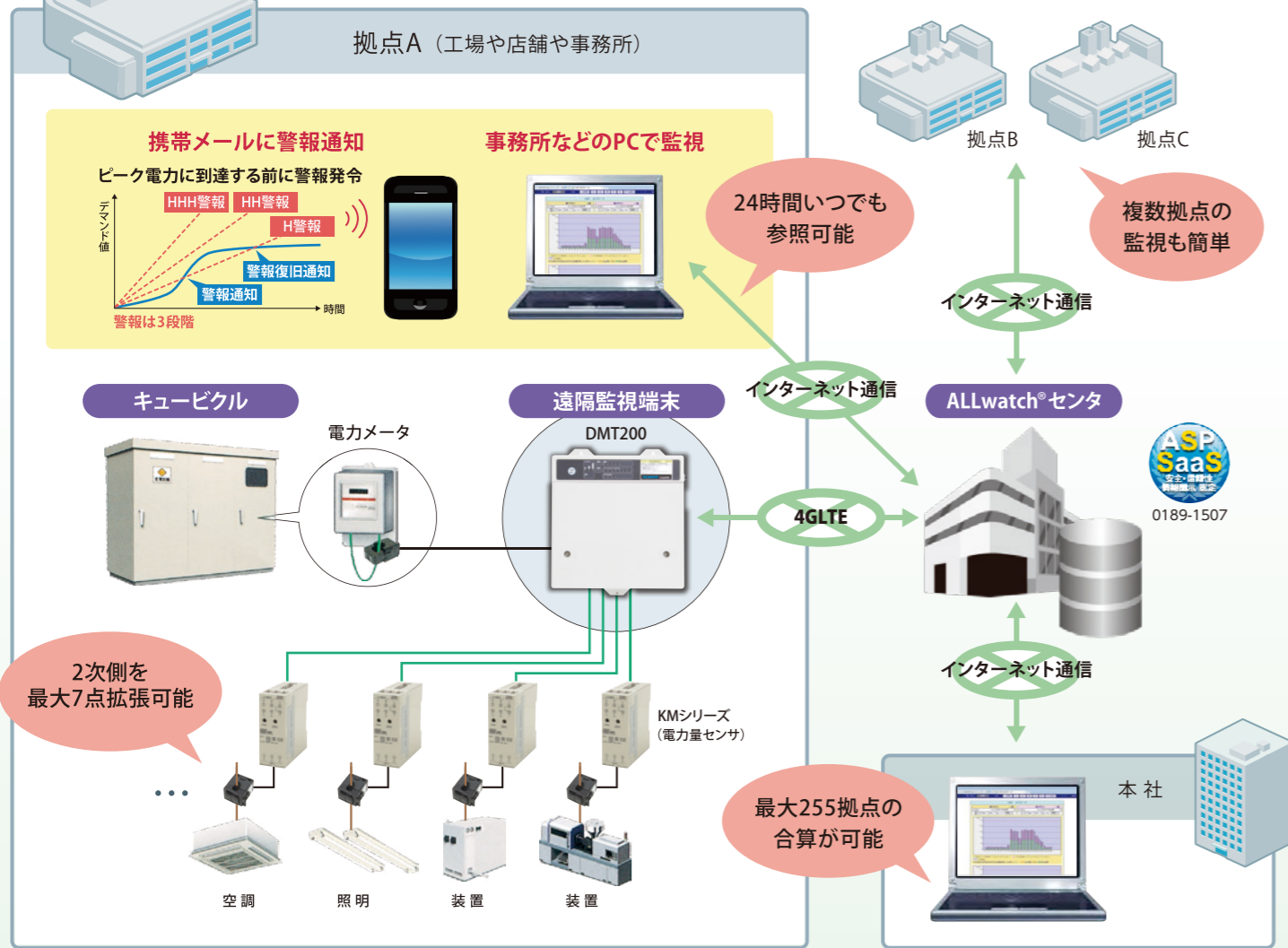
DMT200なら、簡単にデマンド監視や節電対策を実現できます。

簡単導入・簡単設置で24時間いつでもデマンド監視が可能。ピーク電力や削減目標を予測して警報発生や携帯メール通知ができるほか、電力会社管内ごとのデマンド合算機能も搭載。さらにピークの内訳の2次側を7点まで拡張することで、節電対策が確実に実施できます。

電力・デマンド監視装置 DMT200



携帯への警報メールやWeb画面での把握で電力を削減！

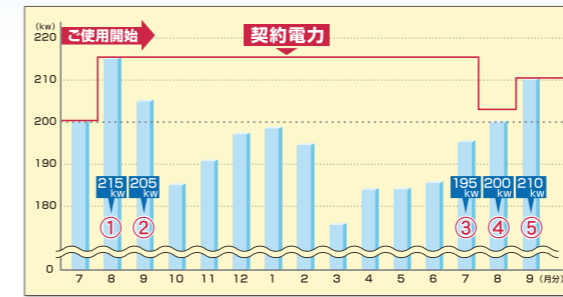


節電をするには、まず契約電力について知ることが重要です！

契約電力は「基本料金」と「電力量料金」の2つで構成されています。

$$\text{《電気代の計算式》} \quad \text{電気料金} = \text{基本料金} + \text{電力量料金}$$

特に「基本料金」は最大需要電力(デマンド)で決定 各月の契約電力は過去1年間(当月と前11ヵ月)の最大需要電力のうち、いずれか大きい値により決まります。



グラフの③(7月)までの間は過去11か月の最大値(①の215kW)となります。④時点(8月)で、過去11か月の最大値が②の205kWになるので、契約電力は205kWとなります。同様の考え方で、⑤では210kWとなります。

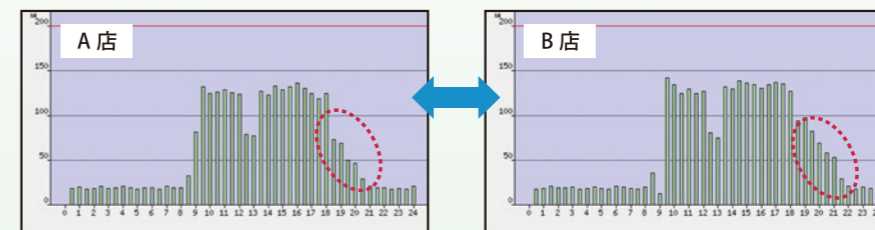
ココがポイント！

このピークを抑えることが契約電力の削減、つまり、節電の近道になります！

さらなる活用で省エネ効果をアップできます！

多店舗比較

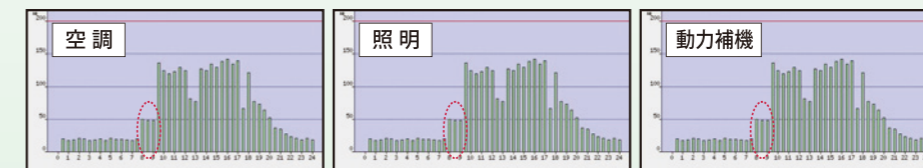
同じ規模の店舗同士を比較することで、消費電力の差を発見。



B店は夜間の待機電力が多すぎる...
→ 夜間の電気の消し忘れを改善

二次側系統別比較

総量だけでなく二次側も計測することで、ピーク原因が見えてきます。



系統別に計測してみたら、全て同じ時間帯に一斉ONされていた
→ 時間をずらしてONするようにルール付け

分析に役立つ様々な集計グラフ表示や多拠点監視向けのデマンド合算機能も搭載！

デマンド値の推移をグラフデータで確認

日次, 月次, 年次

末端設定, **データ一覧**, **通報一覧**

合算デマンド値のグラフ例

各拠点のデマンドグラフ

他拠点のグラフ表示も可能

他拠点のグラフを選択

合算デマンドグラフ

ある拠点のデマンドグラフ

合算したデマンドグラフ

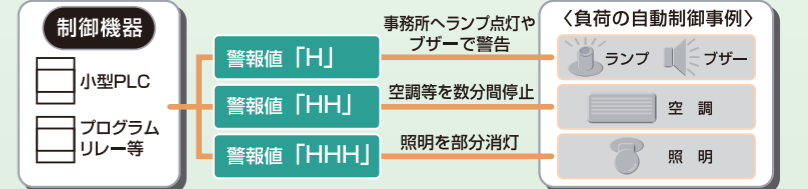
※1 設定リスト: 用電率: 1バス入力 [kWh], ※2 定電率: デマンドバス入力 [kWh]

※3 目標値

※4 凡例の文字色は対応する目標を表しています。(グレーは目標値未満、赤色・青色は目標値以上)

現場の状況に応じた最適な電力の制御が行えます。

電源を強制遮断せず、お客様の判断でエアコンなどの負荷をコントロールできます。さらにリレー・PLCなどの組み合わせで自動制御も可能。



※1 自動制御についてはお客様側でのシステム構築となります。 ※2 遠隔制御出力は通信網・ALLwatch®センター等の稼働状況によっては遅延する場合もあります。